

— 現場の先生に「コツ」を聞いてみました —

**Q1.映像制作で子どもにどのような力をつけようとしていますか？
映像制作で子どもに学ばせたいことは何ですか？**

○伝えたい内容を明確にして、文章を書く力と、構成を工夫する力
○アナウンスを通して、はっきりしっかりと話す力
など、適切に表現し、伝え合う能力を持った子どもに育てようと考えています。これは、国語力の育成ともつながっていると思います。
このほかにも、
○番組を作る上での工夫や苦労についての理解
○番組には作り手の意図が含まれていることについての理解
など、メディアについても学ぶことができます。



長崎県南島原市立堂崎小学校

田中健太郎 先生

**Q2.映像制作を授業でどのような形で取り入れていけば
やりやすいですか？**

小学校高学年の学習として、「ニュース作り」「放送局で働く人々」の学習と連携して進めることで、教科書で学んだことを実際の活動として行うことができます。
また、「地域の良さを紹介しよう」「〇〇小の先生を紹介しよう」などといった学習者にとって身近な題材をニュース素材とすることで、伝える相手も意識させやすくなりますし、学習計画も考えやすくなります。



宮崎県都城市立高城小学校

水野宗市 先生

Q3. そのほか現場の先生へのアドバイスをお願いします

つつい力を入れて取り組もうとしてしまいがちですが、身近な素材を活用し、できるだけ教科学習と連携させること。機械を使うことが大事なのではなく、計画を立てたり、わかりやすく伝えるためにどんな工夫（文章、映像等）をさせるかを中心に学習を組むことが重要ではないかと思っています。

モデルとなる作品を鑑賞させ、子どもに映像で伝えることの良さや工夫に気づかせることが大切です。できればCMなどの制作現場を紹介したテレビ番組を子どもたちに見せ、制作者の意図や表現の工夫について知ると意欲が高まるのではないかと思います。